広報委員会

生徒会広報

2011 年
12 月 26 日

関西生徒会連盟総会を開催

12 月 23 日に関西生徒会連盟総会が本校において開催されました。会議は 10 時 20 分頃から 15 時頃まで行われました。

参加校は以下の通りです。

・東大寺学園(議長)
・灘
・甲陽学院
・大阪星光学院
・開明
・大阪府立天王寺(オブザーバー参加)

はじめ、各校がそれぞれの活動報告を行い、情報を共有しました。

大阪府立天王寺から連盟の目的に関する質問があり、加盟校間では「友好関係を築くこと」で一致していることが確認されました。また、特に東大寺学園と大阪星光学院は「交流の場が一番大切」という意見で一致しました。さらに、大阪府立天王寺から「友好」についての質問が繰り返され、各校がそれぞれ回答を行いましたが、共通の理解に達しませんでした。

連盟憲章の改正案が東大寺学園により提案され、開明から主に運営委員会についての質問があり、東大寺学園の回答に他の3校は賛意を示しましたが、開明からの賛成は得られませんでした。改正案は4校の賛成により可決・即日施行されました。

運営委員を選出する学校は現加盟校5校に決定し、議長から各選出校に対し、次回の総会までの委員選任が求められました。

次回の議長校には甲陽学院が推薦され、全会一致で可決しました。

会議終了後、開明会長・副会長から東大寺学園の議長校としての職務の不手際を指摘され、会長は謝罪した上で今後の改善を約束しました。また、千里国際のメーリングリスト参加について、開明副会長に対し賛意を表明しました。

プルタブ回収箱の設置

平城中学校生徒会からの要請により、自動販売機付近に缶のプルタブ回収箱を設置しました。集められたプルタブは、車椅子寄贈事業へ寄付されます。みなさんのご協力よろしくお願いします。

クラブ・同好会制度改革を推進

同好会制度の廃止を軸とした、クラブ・同好会制度の抜本的な改革を推進しています。

同好会制度の廃止を行う理由は以下の通りです。

・新会則施行に伴い、総務委員会が、会長が任命する総務委員長を中心とした運営機関(行政府)となったことで同好会の設立承認の議決を総務委員会が行えなくなり、新会則の下で唯一、生徒大会の代理としての議決権を持つ代議委員会で承認を行うとなると、クラブの設立承認の方法との差がなくなり、同好会がクラブより予算などでの制限が厳しい根拠がなくなってしまうから。
・同好会制度はもともと、クラブ昇格を目標に努力して実績を作り、会員を増やすためのものであるが、現状、この制度が腐敗しきっているから。
・会則改正の前後を問わず、少人数の総務委員会では同好会の設立承認には反対しない、というのが伝統になり、現在では活動していない同好会が乱立しているから。
・同好会には年間の予算申請額を上限1万円とする制限があるが、クラブの中にも予算申請額が1万円を下回るものがあり、また、同好会の中にも年間予算1万円では活動に必要な備品の購入が出来ずに、自由な活動を妨げている例があるから。

同好会制度の廃止の他にも、クラブ内の基本規則の把握、実際はその業務のほとんどを部長が行なっているクラブ代表委員制度の廃止、クラブの活動停止に関する明確な規定の制定、クラブの管轄委員会を会計委員会に一元化することなども目標としています。現在、担当総務委員を中心に調査・検討中です。

3A山口を総務委員に任命

12 月 20 日に総務委員会規定第3条に基づき3年A組山口知剛を総務委員に任命しました。

生徒会Webサイトオープン

http://tdjseito.web.fc2.com